

令和7年度 北海道帯広農業高等学校（全日制） 学校評価

令和8年3月

評価アンケート	○自己評価（教職員54） ○学校関係者評価（保護者78）、関係機関 5） ○各評価項目に対して4段階で評価。（ ）内の数字は昨年度参考 A[5.0] 十分である B[4.0] 概ね十分である C[3.0] やや不十分である D[2.0] 改善を要する
---------	---

1 教育目標	1 社会人として広い教養と公正な判断力、グローバルな視野を身に付けさせる 2 農業の社会的役割を理解し、生産・加工・流通・販売の成就感を体得しさせる 3 地域産業の発展に必要な知識と創造力を培い、地域リーダーとなる能力を育成する。 4 郷土と自然に対する愛情と思いやりのある心や自己肯定感を培う。 5 健康な心身を持ち、平和で明るい社会をつくる能力を育成する。
--------	--

【評価結果】

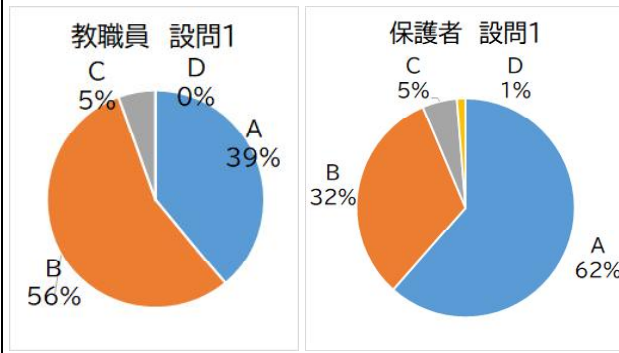
設問 No	評価項目	教職員評価	関係者評価		評価平均		
			保護者	関係機関			
I 教育と教育課程	1 本校の教育目標が本校教育の使命と本校が育てる生徒像を現し、地域の皆様の要望に応えるものになっていると思いますか。	4.3 (4.3) (4.1) (4.2)	5.0 (4.6) (4.6) (5.0)	4.6 (4.6) (4.5) (4.3)	4.6 (4.6) (4.4) (4.4)		
	2 本校では、HP・SNS等の定期的な更新やPTAだより発行等学校情報の迅速な発信やPTA活動、学校農場の開放などを通して、「地域に開かれた学校」「地域から信頼される学校」になっていると思いますか。	4.5 (4.6) (4.2) (4.1)	4.8 (4.8) (4.4) (4.6)	4.5 (4.6) (4.5) (4.3)			
	記述意見等	【教職員】 ・教育課程の編成、実施、改善に向けたさらなる取組が必要である。 【保護者】 ・十分に要望に応じてもらっている。					
【改善方策】 ・教育目標実現のために、生徒の進路状況を踏まえた教育課程の編成を図る。							
【関係グラフ】							
教職員 設問1		保護者 設問1		教職員 設問2		保護者 設問2	

設問 No	評価項目	教職員評価	関係者評価		評価平均
			保護者	関係機関	
II 学習指導・専門	1 本校では、目標の実現に向けて主体的、対話的な深い学びの実現に向けた、授業改善を行っている。また、ICTを活用し、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に取り組んでいる。	4.0 (4.6) (3.8) (3.9)	4.8 (4.4) (4.4) (5.0)	4.3 (4.4) (4.3) (4.1)	4.5 (4.6) (4.2) (4.3)
	2 本校では、大学・関係機関とのパートナーシップ事業、異校種との連携事業（参加授業等）、地域や産業界との連携により専門教育の高度化や定着を図っており、その成果が生徒の姿に現れていると思いますか。	4.6 (4.6) (4.2) (4.3)	4.8 (4.8) (4.8) -	4.4 (4.5) (4.4) -	
	記述意見	【教職員】 ・多くの連携事業により、専門学習の充実を図ることが出来た。 【保護者】 ・中学生の頃よりも、学力が向上している。			

教 育 指 導	等	・様々なことに対応いただき、感謝している。
	【改善方策】	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT機器を効果的に活用しさらなる授業改善を図る。 ・教員研修を充実させ、さらなる教員の資質能力の向上を図る。
	【関係グラフ】	

設問 No	評価項目	教 職 員 評 価	関係者評価		評 価 平 均	
			保 護 者			
III 生 徒 指 導	1	本校では、服装・頭髪・挨拶等の基本的な生活習慣の確立やいじめ根絶の取組、薬物乱用防止、携帯電話使用のマナーの徹底等、規範意識の向上や社会マナーの醸成に取り組んでおり、その成果が現れていると思いますか。	3.5 (4.3) (4.0) (4.0)	4.6 (4.4) (4.8) (5.0)	4.1 (4.1) (4.3) (4.2)	4.1 (4.3) (4.4) (4.4)
	【教職員】	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員のいじめの対応や生徒指導のあり方の研修が必要である。 ・自転車の乗り方など、日常的なモラル教育の充実を図る必要がある。 				
	【保護者】	<ul style="list-style-type: none"> ・社会に出てからも通用する、身だしなみ教育が必要だと思う。 ・挨拶をしない生徒もあり、挨拶の意義について生徒に伝える必要がある。 				
	【改善方策】	<ul style="list-style-type: none"> ・校内研修会や外部の研修会を活用し、教職員の資質の向上を図る。 ・教育相談を充実させ、全教職員で生徒理解を深め、きめ細かな生徒指導を実践する。 ・日常生活における挨拶やモラルについて、HRや講演会で指導の充実を図る。 				
	【関係グラフ】					

設問 No	評価項目	教 職 員 評 価	関係者評価		評 価 平 均	
			保 護 者			
IV キ ャ リ ア 指 導	1	本校では、1年生からの個別進路指導の展開や地域・産業界と連携した専門教育及びインターンシップの実施等を通して生き方・在り方等、進路意識を高めると共に、社会性や勤労観・就労観等の醸成に努めており、社会に通用する人材づくりとして、その成果が現れていると思いますか。	4.3 (4.3) (4.1) (4.3)	4.8 (4.8) (4.6) (4.8)	4.5 (4.4) (4.4) (4.2)	4.5 (4.5) (4.4) (4.4)
	記 述 意 見 等	<ul style="list-style-type: none"> 【教職員】 ・産業界との連携により、連携した企業への就職につながった。 ・産業界との連携より、新規就農など新たな進路選択の可能性が広がった。 【保護者】 ・インターンシップは生徒にとって良い体験になっている。 				
	【改善方策】	<ul style="list-style-type: none"> ・継続した関係機関等との連携を図る。 ・生徒一人一人の進路実現に向けさらなる組織的・系統的なキャリア教育を推進する。 				
	【関係グラフ】					



設問 No	評価項目	教職員評価	関係者評価		評価平均
			保護者	保護者	
V 特別活動・健康・安全指導	1 本校では、特別活動・部活動・生徒会・農業クラブ活動等への積極的な取組を通して何事も主体的に取り組む姿勢の人間力を育てており、その成果が現れていると思いますか。	4.3 (4.4) (4.2) (4.4)	4.8 (4.8) (4.8) (5.0)	4.4 (4.5) (4.4) (4.3)	4.5 (4.5) (4.4) (4.4)
	2 本校では、事故・災害などへの対応を熟知し、生徒の安全確保・事故の未然防止に努め、日頃から危機回避の行動を心がけていると思いますか。	4.3 (4.3) (4.1) (4.1)	4.8 (4.4) (4.5) (4.5)	4.3 (4.3) (4.3) (4.3)	
	記述意見等 【教職員】 ・防災教育の充実を図る。 【保護者】 ・部活動の練習が未完成な高校生の体に負担とならないのか心配。				
【改善方策】 ・生徒の主体的な部活動・生徒会・農業クラブ活動による地域連携を通して豊かな心の育成を図るとともに部活動では生徒の健康状態を把握し、指導を行う。 ・関係機関等と連携して安全教育（ネット教育講習会等）の充実を図る。					
【関係グラフ】					

設問 No	評価項目	教職員評価	関係者評価		評価平均											
			保護者	保護者												
VI その他	1 本校では、全職員がPTA、同窓会など外部団体と積極的に関わり、充実した活動になるよう努力していると思いますか。	3.8 (4.1) (3.9) (4.1)	4.8 (4.8) (4.8) (4.8)	4.2 (4.3) (4.2) (4.3)	4.3 (4.4) (4.2) (4.4)											
	2 本校では、全教職員が個人情報の管理や交通事故、セクハラなど、服務規律の保持について常に公務員としての意識をもって業務に当たっている。	4.5 (4.5) (4.2) (4.2)	- - - -	- - - -												
	3 現在の帯広農業高校の生徒に必要なもの（こと）は総じて何か、次の中から3つ選んでください。	<table border="1"> <tr> <td>A基礎学力</td><td>18.8% (20.8%) (16.4%) (13.1%)</td> <td>F安全意識</td><td>5.6% (4.0%) (9.4%) (6.1%)</td> <td>K友人</td><td>1.9% (2.7%) (2.3%) (5.1%)</td> </tr> <tr> <td>B体力</td><td>3.1%</td> <td>G明るさ</td><td>3.1%</td> <td>Lボランティア</td><td>1.9%</td> </tr> </table>				A基礎学力	18.8% (20.8%) (16.4%) (13.1%)	F安全意識	5.6% (4.0%) (9.4%) (6.1%)	K友人	1.9% (2.7%) (2.3%) (5.1%)	B体力	3.1%	G明るさ	3.1%	Lボランティア
A基礎学力	18.8% (20.8%) (16.4%) (13.1%)	F安全意識	5.6% (4.0%) (9.4%) (6.1%)	K友人	1.9% (2.7%) (2.3%) (5.1%)											
B体力	3.1%	G明るさ	3.1%	Lボランティア	1.9%											

	(2.7%)		(2.7%)		(1.3%)
	(1.6%)		(0.8%)		(1.6%)
	(2.0%)		(5.1%)		(1.0%)
C 専門技術(知識)	7.5%	H 優しさ	5.6%	M 国際観	1.9%
	(13.4%)		(6.0%)		(2.0%)
	(10.2%)		(4.7%)		(3.1%)
D 就職	(14.1%)	I 礼儀	(4.0%)	N 一般常識	(5.1%)
	0.6%		15.6%		16.9%
	(0.0%)		(10.7%)		(12.1%)
	(1.6%)		(11.7%)		(7.0%)
E 進学	(2.0%)	J 部活動	(14.1%)	O 資格取得	(8.1%)
	0%		2.5%		2.5%
	(4.7%)		(2.7%)		(2.7%)
	(3.1%)		(7.8%)		(2.3%)
	(2.0%)		(2.0%)	P 向上心	(2.0%)
					12.5%
					(11.4%)
					(16.4%)
					(14.1%)

記述意見等

【教職員】

- ・オンライン授業という合理的配慮は行っているが、学習の定着については課題が残る。
- ・生徒が多様化する中で、個々の生徒の状況に応じた、迅速かつ柔軟な対応が必要になる。

【保護者】

- ・勝農会が機能しており、卒業生の母校への思いがどこの学校よりも強い。
- ・授業で収穫した野菜、めぐりすで購入した商品はどれも美味しかった。
- ・中学生や保護者が農業高校の進学を迷う理由の一つに、大学等への進学率が挙げられる。大学受験には多様な進学方法があることを説明し、農業高校での学びが進学にも生かされることを伝える必要がある。

【改善方策】

- ・生徒一人ひとりに寄り添う支援体制を強化する。
- ・農業高校の学びの価値を「見える化」し、進学への不安を解消する。
- ・今後も地域・卒業生との強いネットワークを学校の力として活用する。

【関係クラフ】

